

だんじりぶね
車楽舟

堂々帰還!



memo

平成28年12月1日、エチオピアの首都アディスアベバで行われていた政府間委員会において「尾張津島天王祭の車楽舟行事」を含む全国33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産へ登録されました。

毎年、皆さんの目を楽しませている「尾張津島天王祭」。連綿と続いてきた人から人への伝承は祭りに関わる人の苦勞の賜物です。ユネスコの登録はその伝承活動が認められた結果でもあります。祭りを続けていく苦勞のうちに、用具の保存修理が挙げられます。伝統を守っていくには、祭りのかたちをできるだけ変えないように、また今後もさらに続いていくように、時には工夫しながら可能な限り適切な保存・修理が必要です。

でも、
「歴史ある祭り」
長年の傷みが…

平成30年1月20日、尾張津島天王祭に使われる鉄船4艘（市江車と津島車の2車分）が修繕を終えて戻ってきました。今回はその修繕の様様をご紹介します。

この修繕は、船体の劣化した塗膜や錆を除去し、腐食箇所の補強後に塗装を施すものです。「尾張津島天王祭車楽舟行事伝承保存委員会」が事業主体となり取り組みました。



▶ 塗膜が剥がれ、腐食が進んでいた船体



～修繕の様子～



コベリ材(外枠)を外す。



サンドブラストで塗装をはがし、腐食の除去などを行う。



舟の裏側



(写真左) 修繕を終えた4艘。右2艘が市江車、左2艘が津島車。

(写真下) 喫水線などの模様も統一を図った。



今後の天王祭が
楽しみだね♪



この舟の
ことだよ！



問合せ 社会教育課生涯学習G

☎ 55-9421

車楽舟6車分(1車は2艘の船を連結させているため計12艘となります)を毎年2車(4艘)ずつ修繕します。国の補助などを得ながら平成31年度の事業完了を予定しています。
今後も継続して、幕など他の祭り用具についても修繕していくことができよう、保存団体市が一体となって取り組みます。

今後も修繕を続けて
いきます！

